



## 道徳の教科化に向けて

## 道徳教育で変わること・変わらないこと

道徳教育の目標は「(前略) よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」です。授業では、一方的に教え込む授業ではなく、生徒が主体的に考え、議論する授業や問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れます。例えば、礼儀の内容では、具体的なおじぎの仕方を体験するだけではなく、その行為の意義を考え合う場面を授業で取り上げ、考え合います。また指導する内容の中に自尊感情やいじめ防止に関わることも追加されました。



## 5月の各学年の実践

1学年は、思いやりと感謝 2学年は、よりよい学校生活、集団生活の充実  
3学年は、節度、節制 について学びます。

### 【1学年の実践】

### 【2学年の実践】

### 【3学年の実践】